

Doors open 10:00

Kyoto Kanze Regular Performances 28 Sun Jun. 2026 11:00 a.m.-4:30 p.m.



# 京都観世会六月例会

令和8年6月28日(日) 午前11時 開演 (午前10時開場)

〈能〉

Taema

當 麻

橋本擴三郎

〈狂言〉

Boshihari

棒 縛

茂山千五郎

〈能〉

Minazukibarae

水無月袂

田茂井廣道

〈能〉

Ukai

鶉 飼

橋本忠樹



## TICKETS 5/1 10:00 発売

一般前売指定席券(1階) ¥9,000  
Advance reserved seat (1st floor)

一般前売自由席券 ¥7,000  
Advance non-reserved seat

一般当日券(自由席) ¥7,500  
Same-day (Non-reserved seat)

学生券(2階自由席) ¥3,000  
Student (2nd floor)

※通信講座受講生、放送大学、  
老人大学は一般料金です。

WEB予約で座席指定できます。  
電子チケット「チケットれびQ」も  
選択できます。



チケット販売

お問合せ・お申込み  
京都観世会館

Tel : 075-771-6114

<http://www.kyoto-kanze.jp>

〒606-8344

京都市左京区岡崎円勝寺町 44  
(東山仁王門東入)



京都観世会館HP

Noh Play Theater  
Kyoto Kanze Kaikan

会場 **京都観世会館**



地下鉄東西線「東山駅」①番出口から徒歩約5分  
京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車  
徒歩約3分  
「東山仁王門」下車徒歩約5分  
東隣に有料駐車場(約20台)がございます。



日本語 Map



English Map

# 京都観世会六月例会

化女宮本茂樹  
中將姫橋本擴三郎

〔能〕  
旅僧宝生欣哉  
從僧渡貫多聞  
從僧宝生朝哉  
大鼓山本哲也  
大鼓成田達志  
太鼓前川光長  
苗杉市和

〔後見〕  
橋本光史  
井上嘉介

寺澤拓海  
河村浩太郎  
鷲尾世志子  
松野浩行  
浦部幸裕  
橋本儀道  
橋本雅夫  
越賀隆之

## 後見・地謡

### 棒縛

〔狂言〕  
次郎冠者 茂山千五郎  
主人 茂山あきら  
太郎冠者 島田洋海

〔後見〕  
茂山虎真

〔二時四十五分頃〕

### 水無月祓

〔能〕  
狂女 田茂井廣道  
都ノ男 小林 努  
所ノ者 島田洋海  
大鼓谷口正壽  
小鼓吉阪一郎  
苗左鴻泰弘

〔後見〕  
味方 團  
林喜右衛門

〔地謡〕  
橋本充基  
浅井風矢  
大江広祐  
吉田篤史  
片山伸吾  
河村晴道  
河村晴久  
吉浪壽晃

休憩二十分

〔仕舞〕

観阿弥祭

芦刈  
自然居士  
芭蕉  
猩猩  
大江信行  
杉浦豊彦  
片山九郎右衛門  
浦田保浩

〔地謡〕  
谷弘之助  
深野貴彦  
青木道喜  
河村和貴

〔三時半頃〕

### 鶺鴒飼

〔能〕  
四段大王 尉 橋本忠樹  
旅僧 有松遼一  
從僧 岡 充  
大鼓石井景之  
小鼓曾和鼓堂  
太鼓井上敬介  
苗森田保美

〔後見〕  
井上裕之真  
味方 玄

〔地謡〕  
吉田和史  
樹下千慧  
大江泰正  
松井美樹  
分林道治  
河村博重  
古橋正邦  
浦田保親

附祝言

〔終了予定 四時半頃〕

「字幕解説サービス」専用端末は千円（税込）にて貸出いたします。

#### 【観世青年研究会 事前講座のご案内】

京都観世会六月例会終演後に、七月十九日（日）開催「観世青年研究会」をより楽しんでいただくための事前講座を実施いたします（無料でご参加いただけます）。是非ご参加ください。

## 解説

當麻

ある念佛僧が熊野参詣の帰途、大和の當麻寺に参ると、一人の老尼が若い女性を連れて来て、僧に訊かれるままに、當麻寺、染殿の井、桜のことなどを教えた上、中將姫のことを物語り、自分がその化尼、化女であるといつて紫雲に乗って天に上つて行く。（中入）僧が奇譚を待っていると、やがて中將姫の霊が現れて、念佛のありがたいことを述べ、舞を舞い、後夜の勤行をすと思ううちに僧の夢はさめる。

### 水無月祓

京都の下京あたりに住む者が播州室の津に逗留した時、一人の遊女とねんころになり、夫婦の約束をかわした。男は都から迎えを出したところ、遊女はもう室の津にはいなかった。男は鴨の明神の夏越の祓に女との再会を願おうと参詣する。道中道づれの男から茅の輪を携えたおもしろい女物狂のことを聞く。鴨の境内では、案のことくその物狂にあらう。彼女は夏越の祓のいわれを説き、輪をくぐつてけがれを祓いたまると、人々にす

すめながら舞い遊ぶ。狂女は烏帽子をつけると神の御前に舞い狂う。男はこれが室の津で契つた女であるとわかり、彼女を同道して帰途に着くのだった。

### 鶺鴒飼

旅の僧が甲斐国石和で宿を求めると、貸してもらえず、川沿いの御堂に泊まる。そこに鶺鴒使の老人がやつてくる。僧は鶺鴒使の老人に殺生戒を説く。從僧は、昔この辺を通つた時にこのような鶺鴒使に殺生戒を論し、一夜の宿の接待を受けたことを思い出し、話す。老人はその鶺鴒使が死んだことを物語る。一昔、石和には禁漁区があった。しかしその鶺鴒使は夜な夜な忍んで鶺鴒を使って漁をしたところ、見つかり、霖刑（ふしげす巻き）にされた、という。老人は語り終わると、実は自分はその鶺鴒使の幽霊であると明かす。僧は罪障懺悔に鶺鴒を使うよう所望する。老人は鶺鴒を使って見せるが、やがて闇に消える。（中入）僧が法華経で用うと閻魔の下官（俱生神）が現れ、無間地獄に墮とすべき鶺鴒使を、僧の回向と、かつての一僧一宿の功力によって、仏所へ送りかえるのだった。

#### 次回予告

### 京都観世会八月例会

令和8年8月23日（日）

午前11時開演

〔能〕 景 清 観世鏡之丞  
松門之会釈

〔狂言〕 水掛智 野村又三郎

〔能〕 富士太鼓 河村 晴道  
現之薬

〔能〕 春日龍神 杉浦 豊彦  
龍女之舞

#### 〔表紙写真〕

《當麻》片山九郎右衛門

金の星渡辺写真場撮影